

令和 5 年 2 月 10 日

16:00~17:30

## 令和 4 年度 第 3 回 大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 議事録

出席者（敬称略） 協議会委員 山崎 彰 、 須賀 寅充 、 宮坂 政宏  
岡部 美香 、 浅田 勝利 、 後藤 淳  
校 長 中原 光子  
事 務 局 藤縄 真敬 、 土佐 泰豊 、 宮野 淳一  
志方 洋介 、 城台 祐樹

### 次 第

#### 1 校長挨拶 中原校長

・3学期、何かと忙しいが、通常通りできることが増え、生徒は充実した生活を送れている。

#### 2 会長挨拶 山崎会長

・伝統のある豊中高校、新しいことにもチャレンジしている。失敗したとしても、糧になる活動をしている。関係者全員で、豊中高校をよりよくしていければ。

#### 3 協議・報告 協議委員・事務局

##### (1) 令和 4 年度 学校経営計画・今年度の取組状況の報告（校長）

##### 1. with コロナの教育活動

- ・教育活動活発になった。イベントや日々の授業、部活動もかなり制約が解けた。3年生も最後の年に行事やさまざまな活動ができてよかった
- ・海外研修について。3月にベトナムにてフィールドワークを実施。20名参加予定。シンガポール研修は物価高騰等の理由で断念、東京研修に変更。
- ・志学（ボランティア活動）も復活
- ・心のケア・サポートについて。教育相談委員会を中心に SC・SSW と連携。これからも必要となる実感。生徒だけでなく、教員等を含めた全体のケアが必要。

##### 2. 観点別評価の導入

- ・試行錯誤しながら。夏に研修、教科でも話し合いを重ねていった。今後もどういった評価が生徒の力を高めるかを考えながら引き続き考えていく。

##### 3 課題研究

- ・外部との連携で評価。優秀なグループを選出して終業式で全校に披露、表彰する。
- ・NEC・大阪大学・大工大と連携、指導助言を受けながら進めた。

#### 4 SSH Ⅲ期（5年間の3年目）

11月の中間ヒアリング結果→発展があまり見られないとの指摘。教職員の研修、全国的・国際的なレベルの大会に参加できていない。

#### 質疑

（会長）卒業式のマスク対応は？

（校長）歌うときはマスク。それ以外は外していいとの通知

（委員）志学では、どんなボランティアを？

（事務局）生徒がボランティア団体を通して自分たちで見つけて実施。学校からも紹介している。

（委員）積極的に参加している様子をよくみる。イレブンフェスタ（豊中11中のイベント）もたくさん手伝ってもらっている。

（委員）高校生が小学校や中学校にボランティアにきてくれることで、子どもたちがとても喜んでい

る。

（会長）海外研修は円高の影響を受けている。東南アジアに目を向けるのはいいこと。

（委員）今の高校生はどんなことに悩んでいる？

（事務局）高校の授業についていけず、挫折を味わう生徒がいる。何でも完璧にこなさなくてはいけないと考える生徒ほど、悩んでしまう。

（会長）遠隔の授業等で生徒同士のふれあいが減ってしまった。

（委員）横の連帯がうまくできない子が増えている。

（委員）高校入試が東京の受験に近づいている。中学の授業が塾のように、受験のためだけの形が増えているように感じる。また、それを望む保護者も多い。ICT化で自律から遠ざけるような教育がさらに進んでいる。大学入試はどう変わる？

（委員）共通テストは（センター試験と比べて）量がかなり増え、情報処理に拍車をかけている。

（委員）今の状況を危惧。保護者は偏差値の高い大学に入れることに注力。雑談も大切。おもしろい話から生徒の好奇心が刺激され、おもしろいことを見つけて、それが人のためにもなるというところに大切な学びがある。受験だけを目的にした授業では生徒は育たない。しかし、そういう授業で安心する保護者が多いのも事実。

（会長）多様な行き方のロールモデルを示していくことが大切。本人がなりたいイメージを持てる力をつけさせることが大切。10年後の自分を具体的に想像させるなど。私立ではバカロレアを実施し、数学と体育のコラボなど教科横断の取り組みをしているところも増えた。公立は公立のしほりがあるが、できることをしていくべきでは。

（委員）観点別評価で評定を算出している？

（事務局）しています。

（委員）ICTによって逆に仕事が増えているような気がする。

（校長）10年目の教員たちでICTについて協議を重ねた。若い先生もそのような意識を持っている。

## 課題研究について

(委員) 2年生から1年生へうまく引き継げるように。何でも研究できるわけではないので、好きなテーマでも、それに関わることで使えるテーマに持っていければ。

(会長) 蓄積が大切。

(事務局) 1年生、共通テストの「情報」必修化で課題研究の時間が減っている。

(委員) そういった状況であれば、さらに引き継ぎが大切。

(事務局) 今後、引き継ぎ方法の改良を検討する。

## (2) 令和5年度 学校経営計画について (校長)

### ・中期的目標について

→目指す学校像はスクールミッション導入で令和6年度から変わる。現状はそのまま。

### ・働き方改革について

→豊高スタンダード(仮称)の作成。豊中高校の3年間を可視化。

### ・スクールポリシーの策定について

→どれだけ全体化ができるかが大切。

## 質疑

(委員) これらを一番理解しておかなくてはいけないのは生徒。そういった機会は？

(校長) 今もいろんな発信をしているが、よりわかりやすいものを作成し、周知する予定。

(委員) 「学校に行くのが楽しい」の価値基準は？

(校長) 行事が大切だと感じている。

(会長) 豊高スタンダードについて。高1の早い段階で「将来の夢を持つ」という記述があるが、それをもたない子は「スタンダードから外れる」という思いをさせてしまうのでは。

(委員) 何かに向かってとにかく何かをやったら(夢が)だんだん見えるようになるから、なんでもいから夢を持って進んでみるのもいいのでは。生徒に夢を見させてあげる。失敗してもいいからやらせる。子どもはどんな仕事があるか知らない。どんどんやらせるのがいい。

(事務局) コロナ以降、生徒の表情が見えづらい。元気に騒ぐ生徒が減っている。

(委員) 先生たちの心のケアは？方法や課題は？

(校長) ゆとりのなさを感じる。50×7限。減らせるものがなかなかなくて、大きな悩み。ただ、横のつながりはある。教師同士で支えあっている。

(委員) メンターメンティー研修という方法がある。先輩教員が新任教員を支えるという仕組みをつくる。

(会長) 横浜市やっている。うまくいっている様子。

(委員) 企業でもメンタルケアのシステムが増えている。学校でも参考になるのでは。

## (4) その他

なし

令和4年度 大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会委員名簿

協議会委員名簿

番号	名 前	職 名	備 考
1	山崎 彰	武庫川女子大学 副学長	
2	須賀 寅充	豊陵会（同窓会）副会長	
3	宮坂 政宏	株式会社ERP 教育PRO 編集委員	
4	岡部 美香	大阪大学 教授	
5	浅田 勝利	豊中市立第十一中学校 校長	
6	後藤 淳	P T A会長	

校 長

番号	名 前	校 務 分 掌	備 考
1	中原 光子	校 長	

事務局

番号	名 前	校 務 分 掌	備 考
1	藤縄 真敬	教 頭	
2	土佐 泰豊	事務部長	
3	宮野 淳一	首 席	
4	志方 洋介	首 席	
5	城台 祐樹	指導教諭	